

(学年)第1学年、(教科・科目)家庭科・家庭総合

一斉・協働学習

(単元)住生活をつくる

(本時のねらい)

世界の国々や日本の伝統的な住居の違いを知り、その違いについて気候や生活行為、歴史など様々な面から考えさせる。世界には様々な人が、様々な暮らしを営んでおり、住居の多様性は、それぞれの土地で快適な暮らしを追求した先人たちの知恵であることに気づかせる。また、伝統的な日本の家屋の特徴について理解する。

(ICT活用方法)

世界と日本の住居の違いを知るため、世界の国々の伝統的な住居を調べ、気になる住居について地域や気候、特徴などを調べさせた。電子黒板やそれぞれの一人一台端末でワークシートを共有し、発表させた。従来は、教科書や資料集で確認するか、教員が準備したプレゼンテーションソフト等で提示していた。それぞれが調べた住居の写真を全員で共有することで、調べ学習がより有意義な学習となった。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・ 本時の学習内容と目標を知る。	・ 本時の学習内容と目標を説明する。	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の調べ学習を授業支援クラウドアプリのワークシートで振り返る。 ・ 発表する。 ・ 日本の気候に応じた伝統的な家屋について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを見て前時の調べ学習を思い出させる。 ・ 発表者のワークシートがそれぞれの一人一台端末で見えるようにする。 ・ 日本でも地域によって様々な住まいがあることを紹介する。 ・ 伝統的な木造住宅から「日本らしさ」を見つけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業支援クラウドアプリで全員のワークシートを提示する。 ・ 個々の一人一台端末で発表者のワークシートを共有する。 ・ 日本の伝統的な家屋について電子黒板を使って説明する。 ・ 日本の木造住宅について電子黒板を使って説明する。
まとめ 5分	・ 本時の学習内容を振り返る。		

(授業の様子)



(板書とICT)

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

ICTを活用することで、調べ学習を楽しんで行っており、ワークシートの記入や発表がスムーズにできた。友達の発表にも興味を持って聞いており、質問をする生徒もいた。住生活の分野の導入として、興味を持たせるきっかけになったと思う。授業支援クラウドアプリを使うことで、それぞれの生徒のワークシートを画面上で共有することができた。

家庭科は実習が多く、口頭の説明だけでなく、写真や動画で示す方がイメージしやすい。本時のような調べ学習や発表のみならず、普段から電子黒板や一人一台端末を用いた学習を取り入れたい。今後もICTを活用し、生徒にとってより深い学びになるよう自己研鑽に努めていきたい。